



# JAこうか自己改革の取り組み状況のご報告

## JAこうか自己改革の取り組み状況のご報告

JAこうかは自主・自立の協同組合であり、自らの手で改革に取り組んでいます。

協同組合とは同じ目的をもった個人や事業者が集まりお互いに助け合う組織です。JAは農業者である「正組合員」と地域に暮らす消費者である「准組合員」が共に協力し、地域の農業と暮らしを守り高めていくことで生活の質を向上し、より良い地域社会を築くことを目的としています。

一方、政府は農業の成長産業化、競争力の強化を掲げて農協改革を進めていますが、その施策は必ずしも農業の生産現場や地域に暮らす人々の声を反映しているとは言えません。

地域の組合員の皆さまに評価をいただくことがJAこうかの「協同活動の成果」です。今回、平成29年度からスタートした「第14次3カ年計画」の取り組み状況について経過をご報告させていただきます。これまでも引き続き組合員のみならずにお知らせをさせていただきます（文中の実績数値等は平成29年9月末時点のものを記載しています）。



広報誌「こうか」7月号に自己改革取組報告書掲載しました

### 夢のある地域農業づくり

マーケットインの視点に基づき選択制のある米づくりを進めています！

平成28年度から特別栽培米・良質米の生産とともに選択制のある米づくりとして業務用契約栽培米きぬむすめ<sup>®</sup>の作付けと買取販売に取り組んでいます。

きぬむすめについては、平成28年度は43ha、平成29年度は887haの作付けとなり、平成29年度は12,700円/haで全量買い取りを実施しました(玄米436t)。

平成29年度からは、みずかがみ<sup>®</sup>業務用契約栽培の買取販売についても取り組んでいます(玄米190t)。

「**甲斐の野菜の産地化と果樹等の研究・開発に取り組んでいます**」

各地区の営農経済センターに営農指導員を配置し、迅速な営農指導ができるようになりました。

大規模モデル野菜として、玉葱「キャベツ」「カボチャ」「白ネギ」「白菜」「ニンジン」を重点6品目に設定し、定規模等の作業機械の貸出などの支援を行い、生産拡大に取り組んでいます(平成29年度はキャベツ147ha、カボチャ3.1ha、白ネギ4.9ha、白菜3.2ha、ニンジン2.7haの作付面積となりました)。

「**玉葱**」については173tの買取販売を実施しました。

果樹甲斐地域農業センターとタイアップして研修会や個別相談会を実施し、ブドウで7軒、ナシで2軒が新たに栽培に取り組まれる予定です。取り組みにあわせて



ブドウとナシの果樹栽培研修会 白ネギ「葱葱」の定植作業現場研修会

1億7,000万円の農業関連融資に取り組ましました。

- 共済保障点検活動として4,116件の3Q訪問を実施し、保障見直しなどに取り組んでいます。
- 支所窓口の迅速化と相談機能の強化に取り組んでいます。

● 現金事務効率化機器を導入し支所(水口・甲南・甲斐)を導入します(湖南支所は導入済、土山・信楽支所は平成30年度以降導入予定です)。

● 統括支所に「年金相談員」・「相続相談員」(平成29年4月から)を設置しています。

● 社会保険労務士による申告相談や財産診断などの相続関連相談で10件の対応を行いました。

### 元氣なJAづくり

● 組合員や地域のみならずのJAへの参画を進めています！

- 地域に応じた組織活動(くらしの活動)を展開するため、統括支所および営農経済センターに「くらしの活動担当者を設置しました」。
- 地区運営委員・元気倶楽部役員・女性部役員などの各組織の代表と地区選出役員を構成員とした地区いれあい委員会を6地区に設置し、地域のニーズに応じたくらしの活動を展開しています。



大農業祭でのやきもち販売(水口地区ふれあい委員会) 生産者を講師とした「家庭菜園教室」の開催(甲南地区)

### 「JAの自己改革に関する組合員アンケート」へのご協力について

現在、JAグループでは「農家組合員の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を掲げ、自己改革に取り組んでいます。

一方で、政府はJAグループに対して「規制改革実施計画」を策定し、農協改革を進行するよう強く要請しており、改革の進展状況によっては、**信用・共済事業の譲渡や准組合員の事業利用規制**などが行われることも懸念されます。

今後、より一層地域の農業や暮らしに貢献する総合JAを目指し、これまでのJAグループにおける自己改革の取り組みについて、組合員のみならず評価をしていただくため、この度、組合員アンケートを実施させていただきますことといたしました。

組合員アンケートの主旨をご理解いただき、是非ともご協力をお願いするため、事前にお知らせをさせていただきます。

1. 実施時期 **平成30年2月初～中旬(予定)**
2. 対象者 **無作為抽出による1,500人の組合員のみならず(正組合員・准組合員 各750人)**



西武百貨店(大津)での茶の販売会



ここびあで「七夕まつり」を開催しました

ハウスリースなどの支援を行っています。  
花野果市「ここびあ」を起点とした産地消の拡大に取り組んでいます！

● 管内4店舗の直売所(花野果市水口店・花野果市貴生川店・花野果市石部店)「ここびあ」の活性化と販路強化のため平成29年度から直販部を設置しました。

● 季節に応じたイベントを開催し、甲斐野菜をモチーフにした「葱」シリーズ野菜をはじめ管内で生産された米・茶・各種加工品などの販売を強化しています。

● 出荷者組織の花野果倶楽部では毎月新規出荷者説明会を開催し、平成29年度上期では新たに28名が出荷者として倶楽部に加入され総数は584名となりました。

● JAこうかのホームページに店舗別のイベントスケジュールや割引クーポンの掲載ツイッターでの情報発信を行っています。

● 「**近江の茶のブランド化を進めています**」

● 平成29年度は営農指導員による荒茶成分分析を183点・土壌診断を37点実施しました。

● 茶園改植を計画に準じており、平成29年度は土山地区で3.2ha、信楽地区で1.5haの改植が予定されています。

● 茶生産者のJGAP認証の取得を推進しています(平成29年度は信楽地区で1件の申請を行っています。あわせて職員がJGAP指導員資格の取得を進めています)。

● 西武百貨店などでのPR販売や東京にオープンした首都圏情報発信拠点「ここびあ」との連携を強化しています。